

20220208 秘录世界遗产景点的直升飞机坠毁

南米・ペルーの世界遺産、ナスカの地上絵の上空で遊覧飛行をしようとしていた軽飛行機が離陸直後に墜落し、外国人観光客など乗客乗員7人全員が死亡しました。

4日正午すぎ、五人の乗客と二人の乗員を乗せた軽飛行機がペルー南部のナスカ市の空港を離陸直後に墜落し、乗客乗員7人全員が死亡しました。

このうち乗客はオランダ人やチリ人の観光客でした。

軽飛行機を運行していたのは、巨大なナスカの地上絵を上空から見て楽しむ遊覧飛行ツアーを主催する地元の観光業者で、同時に空港から20キロほど離れた地上絵へ向かうところでした。

ユネスコの世界遺産に登録されているナスカの地上絵は、紀元前500年ごろから紀元500年ごろにかけてペルー南部の大地に描かれたと推定される。動物や幾何学的な線などのえで、日本を含む世界中の観光客の人気を集めています。